



TITLE:

学問の系譜-アインシュタインから
湯川・朝永へ-

AUTHOR(S):

CITATION:

学問の系譜-アインシュタインから湯川・朝永へ-. 物性研究 2006, 86(3)

ISSUE DATE:

2006-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/110526>

RIGHT:

研究会報告

学問の系譜

— アインシュタインから湯川・朝永へ —

青木 健一・坂東 昌子・登谷 美穂子 [編]

2005 年 11 月 7 - 8 日
京都大学基礎物理学研究所

目次

0. 序	253
坂東 昌子 研究会「学問の系譜」を終えて	255
1. 原子核物理学の展開 座長: 国廣 悌二	265
池田 清美 核物理研究の“はじめから終わりまで”の繰り返し	266
大久保 茂男 クラスタモデルの展開	280
矢崎 紘一 クォーク模型と核力	294
2. 宇宙線研究と加速器 座長: 菅本 晶夫	299
荒船 次郎 ニュートリノと宇宙線研究	299
丹生 潔 チャーム粒子と宇宙線研究	314
3. 基礎物理学の系譜 座長: 益川 敏英	329
南部 陽一郎 基礎物理学 — 過去と未来 —	329
4. 宇宙物理学への発展 座長: 杉本 大一郎	344
林 忠四郎 宇宙物理学事始	344
佐々木 節 林研究室の気風と宇宙物理学	354
吉村 太彦 宇宙のバリオン数と基礎物理学	359
5. 物性物理学とその広がり 座長: 佐々 真一	378
川上 則雄 場の理論と臨界現象	378
川崎 恭治 非平衡統計力学事始め	394
早川 尚男 非平衡物理の最近の発展 — コメント: 川崎から大沢へ —	402
6. 生物物理学への発展 座長: 佐々 真一	407
大沢 文夫 生物物理学事始	407
7. 素粒子論の未来へむけて 座長: 大貫 義郎	424
江口 徹 統一理論への夢と湯川理論	424
九後 汰一郎 場の理論の発展と日本	437
江沢 洋 場の量子論の数学的解析	451
8. 自然の累層構造 座長: 中西 襄	458
田中 一 累層性と自然観	458
9. 懇親会 座長: 坂東 昌子	473

研究会世話人

代表: 坂東 昌子 (愛知大)

青木 健一 (金沢大)、江口 徹 (東大)、江沢 洋 (学習院大名誉教授)、早川 尚男 (京大)、
九後 汰一郎 (基研)、国廣 悌二 (基研)、蔵本 由紀 (北大)、太田 隆夫 (基研)、佐々木 節 (基研)、
佐藤 勝彦 (東大)、菅本 晶夫 (お茶大)、田中 一 (北大名誉教授)、登谷 美穂子 (京大)